

そらんぽ便り Vol.99

☎ 博物館・プラネタリウム (TEL) 355-2700 (FAX) 355-2704

2025年は巳年!

夜空に輝くへびの星座

2025年は巳年ですね。実は、88ある星座の中にも、「へび」の名がつく星座がいくつかあります。

まずは、全天一大きい「うみへび座」。春の夜空をのたうつ大きなウミヘビの姿を表した星座です。ギリシャ神話では9つの頭を持つヒドラという怪物として伝えられています。

夏に見られる星座の中には、「へびつかい座」と「へび座」があります。へびつかい座はちょうど将棋の駒のように五角形に星が並んだ大きな星座です。神話によると、へびを使って病気を治す医者 of 星座で、へびはかつて医学の象徴ともされていました。へびが杖



へびつかい座

©GOTO

に巻きついた「医神・アスクレピオスの杖」のマークは、現在も医療機関などで使われています。

また、へび座はへびつかい座を挟んで左右に延びる分割された星座です。

最後に、北半球では見ることができませんが、「みずへび座」があります。水中を泳ぐミズヘビの姿を表した星座で、3等の星を三つ結んだ三角形をしています。

夜空に輝く「へび」の名がつく星座は4つあるのです。巳年にちなみ、へびの星座を眺めたり調べたりするのも面白いかもしれません。

文化財さんぽ

☎ 文化課 (TEL) 354-8238 (FAX) 354-4873

経塚を見守る巨木

北山町の市指定史跡「^{きょうづか}経塚公園」の巨大なヒノキをご存じでしょうか。この巨木は経塚の目印として植えられ、木の下に石組みの土盛りが経塚と伝えられています。

経塚とは、^{みろくぼさつ}弥勒菩薩が姿を現す遠い未来まで仏の教えを伝えるため、^{まっぽうしそ}経典を土に埋め塚としたものです。未法思想が広がる平安時代中期に多く築かれ、のちに^{ついでんくよう}追善供養や^{げんぜり}現生利益を祈るためにも作られました。また、経塚には仏像や仏具、鏡や装身具、武器、貨幣なども一緒に納められることがありました。



経塚公園のヒノキ (北山町)

江戸時代の郷土誌「^{せいようごれいいせう}勢陽五鈴遺響」には、この経塚から経文が書かれた石が出土したとあります。また、かつてこの付近にあった^{さい}西徳寺が、織田信長の兵火で焼失した際、寺の僧侶がこの場所に大般若経を埋めたと伝えられています。もしかすると、大般若経以外にも何かを埋めたのかもしれませんが。

幹回り3.6mの巨木となった経塚公園のヒノキは、当時の人々のはるか未来への願いを今後も見守り続けていくことでしょう。